【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公開番号】特開2010-166341(P2010-166341A)
【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)
【年通号数】公開・登録公報2010-030
【出願番号】特願2009-7100(P2009-7100)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｋ　17/78　　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　13/183　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｋ　17/78　　Ｐ
Ｇ０８Ｂ　13/183

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月19日(2011.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０は、投光器１０、受光器２０の光軸調整に支障をきたさない位置に固定される。このとき、投光器１０あるいは受光器２０と、双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０間で、電気的結合が完了する。双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０は、投光器あるいは受光器から電源供給を受けて作動する。双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０は、電池が内蔵可能であり、投光器から取り外しても、受光器の状態を観測できるようにしてある。双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０は、取り付けられた機器が、投光器であるのか受光器であるのかを、双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０に設けたコネクタ（図示省略）と、投光器に設けた双方向無線通信モジュール内蔵光軸調整ユニット３０と接続するためのコネクタ１３、あるいは受光器に設けた光軸調ユニットと接続するためのコネクタ（図示省略）とが接続された時に、自動的に判別する。この判別は、投光器あるいは受光器との信号の授受によりおこなうが、投光器あるいは受光器との結合時に、別々の設定スイッチが作動するようにし、作動したスイッチの状態に基づき判別させてもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】全図
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】

